

## 令和6年度沖縄県立西原高等学校学校評議員の運営状況

### 1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	7月18日 11:10～12:10	場所	小会議室	出席 状況	全員出席
第2回	日時	12月19日 11:10～12:10	場所	面談室	出席 状況	全員出席
第3回	日時	2月27日 11:00～11:50	場所	面談室	出席 状況	全員出席

### 2 学校評議員に求めた事項

- ①本校の学校教育目標に対する意見
- ②教育活動全般に対する意見
- ③教務・生徒指導・進路指導の活動状況及び成果と課題に対する意見
- ④学校評価の結果等に対する意見

### 3 学校評議員の意見

- ・新しい分野の部活動がどんどん活躍して活動が広がっていることが頼もしい。
- ・携帯の使い方やSNSトラブル対応について親子で学べるようなPTAと連携した取り組みもして欲しい。
- ・生徒の自主性を引き出すために学校側からも何らかの仕掛けをしていくことも必要ではないのか。
- ・生徒の「できない」に着目するのではなく「できること」を一つでも増やす特別支援教育的視点の生徒支援を行うことも大事だと思う。
- ・保護者からの多様な意見はあるものの「西原高校に進学させて良かった」との学校評価が最も高いことは、教育目標や学校経営が上手くいっていることだと思う。
- ・学校の課題を共有する教員対象の校内研修等を積極的に取り組んで欲しい。

### 4 学校運営に反映した事項

- ・50周年事業では生徒の自主性を活かした取組を展開した「周年祭」を実施することができた。
- ・教育相談では担任や養護教諭、スクールカウンセラーと密に連携し生徒の特性に応じた支援を行った。
- ・生徒指導においても懲罰的指導ではなく発達支援的指導へ舵をきることができた。
- ・講話の開催や「便り」を通して進路情報を提供し生徒の適正に応じた進路指導を行うことができた。
- ・カリキュラム・マネジメント研究指定校として校内研修を開催し、職員で本校の課題の共有を行った。

### 5 課題その他

- ・学校の課題解決に向けた発展的な研修を開催するなどチーム学校体制で取り組む必要がある。
- ・自律性を促す生徒指導方針を職員全体で共通理解しながらすすめていく必要がある。
- ・保護者や専門機関と連携し、生徒の特性に応じた特別支援的生徒支援を行う必要がある。
- ・生徒の適正に応じた進路選択ができるよう引き続き展開する必要がある。